

AKAI[®]
PROFESSIONAL

EWISOLO

エディターアプリケーション

ユーザーガイド
日本語

Manual Version 1.2

目次

はじめに.....	4
EWI Solo Editorアプリケーションについて.....	4
システム要件と製品サポート.....	4
インストール方法.....	5
Windowsの場合.....	5
MacOSの場合.....	5
概要.....	6
グラフィカル・インターフェース.....	6
操作について.....	7
コントロールの使用法.....	7
プログラム管理.....	8
プログラムの選択.....	8
プログラムの保存.....	9
コントロールパネル.....	10
シンセ・ページ.....	10
ピッチ・コントロール.....	10
フィルター・コントロール.....	12
LFO コントロール.....	13
エンベロープ・コントロール.....	14

エフェクト・ページ	16
Reverb/リバーブ.....	16
Chorus/コーラス.....	17
Delay/ディレイ.....	18
ライブラリ-・ページ	19
セッティング・ページ	21
Other/その他.....	22
Fingering/フィンガリング.....	24
Hold/ホールド.....	25
Interval/インターバル.....	27
Glide/グライド.....	29
Pitch Bend/ピッチベンド.....	31
Breath/ブレス.....	33
Bite/バイト.....	36
下パネルツールバー.....	38
商標およびライセンス	39

はじめに

EWI Solo Editorアプリケーションについて

EWI Solo Editor Applicationでクリエイティブな能力を広げましょう。このカスタム・ソフトウェア・エディターは、EWI Soloのサウンド・ライブラリーをMac®やPC上で操作・整理するための強力なプラットフォームです。EWI SoloをUSBでコンピューターに接続し、ライブラリーから任意のインストゥルメントを呼び出し、フィルター、2つのLFO、パン・ノブ、チューン・コントロール、複数のエンベロープを使って、まったく新しいものに微調整します。編集したものをEWI Soloに直接保存すれば、カスタマイズされたインストゥルメント・ライブラリーとして、いつでも演奏できるようになります。

システム要件と製品サポート

完全なシステム要件、互換性情報、および製品登録については、以下をご覧ください。

akaipro.com/EWISolo

その他のサポートについては、akaipro.com/support をご覧ください。

インストール方法

Windows®

1. ダウンロードした.exeインストーラーファイルをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従って操作し進めてください。

MacOS®

1. ダウンロードした.pkgインストーラーファイルをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従って操作し進めてください。

概要

グラフィカル・インターフェース

プログラム管理

コントロールパネル



EWI Solo Editorは2つのセクションに分けられた、分かりやすいユーザーインターフェイスを持っています。プログラム管理セクションは常に表示され、コントロールパネルは、選択した内容によって変化します。

プログラム管理: このセクションのボタンとメニューで、プログラムを選択したり保存したりすることができます。プログラムについては、「操作について > プログラム管理」を参照してください。

コントロールパネル: シンセ/エフェクト/ライブラリ/セッティングの各ボタンで表示するページを切り替えます。シンセ・ページではEWI Soloのシンセパラメータを調整、エフェクト・ページではエフェクトを適用/調整、ライブラリ・ページではEWI Soloのプログラムを整理、セッティング・ページではEWI Soloの設定等を行います。詳細は、操作について > コントロールパネルをご参照ください。

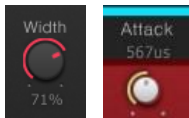
操作について

コントロールの使用方法

EWI Solo Editorアプリケーションのコントロールの使い方は以下の通りです。:



Sliders: スライダーをクリックして上下に(または左右に)ドラッグして設定します。スライダーの横には、その値が表示されます。



Knobs: ノブをクリックし、時計回りまたは反時計回りにドラッグして設定します。ノブの横にノブの値が表示されます。



Buttons: ボタンをクリックすると、ページやコマンドを選択したり、各種設定を切り替えたりすることができます。



Checkboxes: チェックボックスの内側をクリックすると、そのオプションが選択されます。

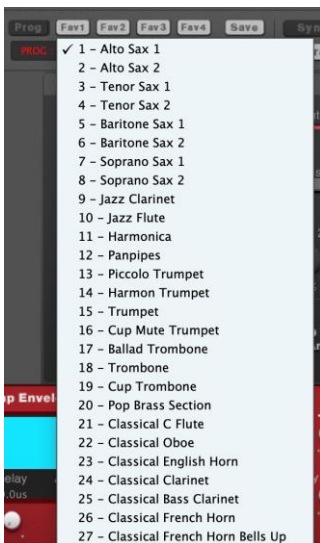


Fields: フィールドをクリックしてドロップダウンメニューを開き、メニューの中から希望するオプションをクリックします。

プログラム管理

EWI Solo Editorアプリケーションのプログラム管理セクションを使用して、EWI Soloのプログラムにアクセスし、編集したりすることができます。

プログラムの選択



プログラムを選択するには:

1. ProgボタンまたはFavボタンのいずれかをクリックして、それぞれシステムプログラムまたはお気に入りプログラムのどちらを表示するかを選択します。
2. 現在のプログラム名のフィールドをクリックし、表示されるドロップダウンメニューからプログラムを選択します。

プログラムの保存



プログラムを保存するには:

1. FAVボタンの横の保存ボタンをクリックします。
2. 表示されたウィンドウで、最初のドロップダウンメニューをクリックし、プログラムを保存するお気に入りリストを選択します。
3. 2番目のドロップダウンメニューをクリックし、現在のプログラム設定を保存するプログラム番号をお気に入りリストから選択します。
4. プログラムを保存するには**OK**をクリックします。
操作をキャンセルする場合は**Cancel**をクリックします。

コントロールパネル

コントロールパネルを使用して、プログラムを編集し、後で使用するために保存することができます。コントロールパネルの各エリアについて、以下に説明します。

変更内容を保存するには、「プログラム管理 > プログラムの保存」をご覧ください。

シンセ・ページ



シンセ・ページを表示中は、以下の各項で説明するコントロールが使用可能です。

ピッチ・コントロール



Tuning: このスライダーでプログラムのチューニングを設定します。(-1200から+1200セント)

重要: これはEWI SoloのFine Tuning設定とは異なり、すべてのプログラムのチューニングに影響します。

Env 2: エンベロープ2 (Env2) がパッチのピッチやチューニングをどの程度変調するかを設定します。(-1200から+1200セント)

注: 1半音は100セント、1オクターブは1200セントです。

LFO1 CC量

- **CC1:** EWI Soloから送られるCC1 (Mod Wheel) の値に応じて、LFO1の深さを設定するノブです。
注:EWI Soloは、CC1モジュレーション・メッセージを送信するように設定する必要があります。
- **Breath:** BreathコントロールがLFO1の深さにどの程度影響を与えるかを設定します。マウスピースに息を吹き込む量が多いほど、効果が大きくなります。

LFO 2 CC量

- **CC1:** EWI Soloから送られるCC1 (Mod Wheel) の値に応じて、LFO2の深さを設定するノブです。
注:EWI Soloは、CC1モジュレーション・メッセージを送信するように設定する必要があります。
- **Breath:** BreathコントロールのLFO2の深さにどの程度影響を与えるかを設定します。マウスピースに息を吹き込む量が多いほど、効果が大きくなります。

フィルター・コントロール



Cutoff: プログラムに割り当てられたフィルターエフェクトのカットオフ周波数を設定するスライダーです。フィルターの範囲は-100%から+100%で、20 Hz～20 kHzに相当します。

Resonance: フィルターのレゾナンス量を設定するスライダーです。

Env 2: このノブで、エンベロープ2がフィルターのカットオフ周波数をどの程度変調させるかを設定します。

Breath: このノブで、EWI Soloの呼吸センサーがフィルターのカットオフ周波数をどの程度変調させるかを設定します。その範囲は-100%から+100%です。正の値では、マウスピースに向かって強く息を吹き込むと、フィルターがより開きます。負の値では、マウスピースに向かって強く息を吹き込むとフィルターが閉じます。

注: このノブは、EWI Soloのプレス・センサーがプレス・メッセージを送る設定(CC #2)のときのみ、この効果を発揮します。

Key: このノブで、フィルターが音声に与える影響の度合いを設定します。設定範囲は-100%から+100%です。正の値では、フィルターの効果は弱くなります。負の値では、効果が強くなります。

LFO1 CC 量

- **CC1:** EWI Soloから送られるCC1 (Mod Wheel) の値に応じて、LFO1の深さを設定するノブです。

注: EWI Soloは、CC1モジュレーション・メッセージを送信するように設定する必要があります。

- **Breath:** BreathコントロールがLFO1の深さにどの程度影響を与えるかを設定します。マウスピースに息を吹き込む量が多いほど、効果が大きくなります。

LFO コントロール



LFO1

Freq: LFO1のモジュレーションを行う速度を設定します。その範囲は-100% (遅い) から +100% (速い) です。

Delay: LFOがオーディオに影響を与えるまでの時間を設定します。設定範囲は10msから10.0sです。

Filter: LFO1のフィルターのカットオフ周波数の深さを設定するスライダーです。フィルターLFOはバイポーラで、カットオフを正負にモジュレートすることができます。

Amp: LFO1の振幅の深さを設定するスライダーです。

CC1 Amt.: EWI Soloから送られるCC1 (Mod Wheel)の値に応じて、LFO1の振幅ゲインを設定します。

注:EWI Soloは、CC1モジュレーション・メッセージを送信するように設定する必要があります。

LFO2

Freq: LFO2が変調する速度を設定します。その範囲は-100% (遅い) から +100% (速い) です。

Delay: LFOがオーディオに影響を与えるまでの時間設定です。設定範囲は10msから10.0sです。

Pitch: LFO2のピッチモジュレーション範囲を設定します。

エンベロープ・コントロール

Amp Envelope



Delay: 音が出るまでの時間を設定します。

Attack: ノートの振幅がプログラムの音量レベルまで上昇するまでの時間を設定します。

Hold: エンベロープのDecayステージに移る前に、ノートがプログラムの最大振幅(プログラムの音量)で鳴る時間を設定します。

Decay: ノートの振幅がSustainパラメーターのレベルまで下降するのに必要な時間を設定します。

Sustain: Decayステージが下降するノートのオーディオレベルを設定します。

注:EWI Soloは、従来のシンセ・エンベロープのリリース・ステージを使用しません。

Key > Decay: 演奏する音によってディケイ値を変化させる量を設定します。ノートが低いほど、ディケイタイムは短くなります。ノートが高いほど、ディケイタイムは長くなります。

Key > Hold: 演奏している音に応じてホールド値がどの程度変化するかを設定します。ノートが低いほど、ホールドタイムは短くなります。ノートが高いほど、ホールドタイムは長くなります。

Envelope 2



重要: Envelope 2の設定はAmp Envelopeと同じ機能ですが、Envelope 2はチューニングとフィルターのカットオフ周波数をモジュレートします。(モジュレーションの量を調整する方法については、Pitch ControlsとFilter Controlsのセクションを参照してください)

Delay: エンベロープを開始するまでの時間を設定します。.

Attack: ピッチまたはフィルター・カットオフが、プログラムのチューニングまたはフィルター・カットオフのレベルまで上昇するのにかかる時間を設定します。

Hold: エンベロープのDecayステージに移行する前に、プログラムのチューニングまたはフィルター・カットオフのレベルを維持する時間を設定します。

Decay: ピッチまたはフィルター・カットオフがサステーン・パラメーターのレベルまで下降するのにかかる時間を設定します。

Sustain: Decayステージが下降するピッチまたはフィルター・カット オフを設定します。

注:EWI Soloは、従来のシンセ・エンベロープのリリース・ステージを使用しません。

Key > Decay: ピッチまたはフィルター・カットオフに基づくディケイ値の変調量を設定します。ノートが低いほど、ディケイタイムは短くなります。ノートが高いほど、ディケイタイムは長くなります。

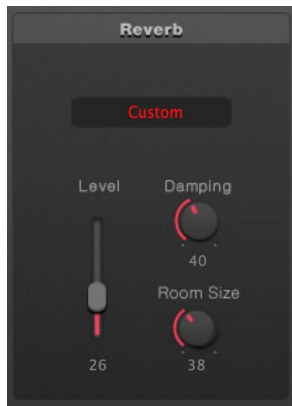
Key > Hold: ピッチまたはフィルター・カットオフに基づくホールド値のモジュレーションを設定します。ノートが低いほど、ホールドタイムは短くなります。ノートが高いほど、ホールドタイムは長くなります。

エフェクト・ページ

以下の各項で説明するコントロールは、エフェクト・ページを表示するときに使用できます。また、EWI SoloのFXメニューで調整することもできます。

リバーブ

リバーブセクションでは、特定の部屋の空間における音のニュアンスのリバーブをシミュレートする空間効果であるリバーブを音に適用することができます。



Presets:このフィールドをクリックし、ドロップダウンメニューを使用して、リバーブエフェクトをオフにする、リバーブプリセットを選択する、またはカスタムを選択し、以下のリバーブパラメーターを手動で調整することができます。

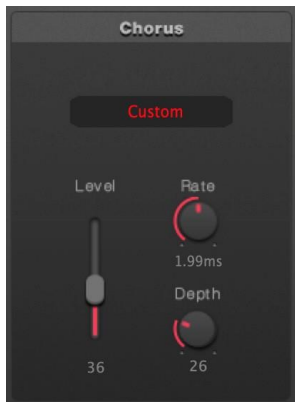
Level:プログラムのリバーブセンドレベルを設定するスライダーです。

Damping:リバーブ音の時間的な減衰に伴う高域の吸収を調整します。

Room Size:シミュレーションする部屋サイズを設定するノブです。

コーラス

コーラスセクションでは、ピッチとディレイを变調するコーラスを適用し、ドライ信号に加えることができます。少量であれば、複数の音色が同時に演奏されているような錯覚を起こします。



Presets: このフィールドをクリックし、ドロップダウンメニューでコーラス効果をオフにするか、コーラスプリセットを選択するか、カスタムを選択して以下のコーラスパラメーターを手動で調整します。

Level: このスライダーでプログラムのコーラスセンドレベルを設定します。

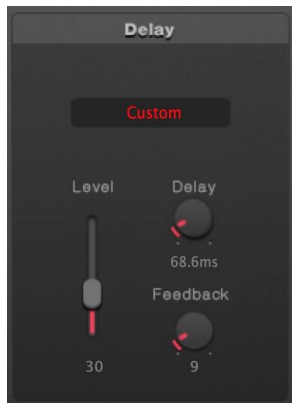
Rate: コーラスエフェクトのレートを調整します。設定範囲は1.0Hzから3.0Hzです。

Depth: コーラスエフェクトの深さや強さを調整するノブです。

ヒント: 「揺らぎ」や「水っぽい音」をより強調したい場合は、このノブの値を大きくしてください。

ディレイ

ディレイセクションでは、音にディレイをかけることができ、指定した時間、元の信号のエコーを発生させることができます。



Presets: このフィールドをクリックし、ドロップダウンメニューを使用してディレイエフェクトをオフにするか、ディレイプリセットを選択するか、カスタムを選択して以下のディレイパラメーターを手動で調整します。

Level: プログラムのディレイセンドレベルを設定するスライダーです。

Delay: ディレイエフェクトのレート进行调整します。調整範囲は、0.1msから742.9msです。

Feedback: このノブで、エフェクトの信号がどの程度、再びエフェクトに戻されるかを調整します。

ライブラリー・ページ



ライブラリー・ページでは、EWI Soloのプログラム・リストを編集することができます。

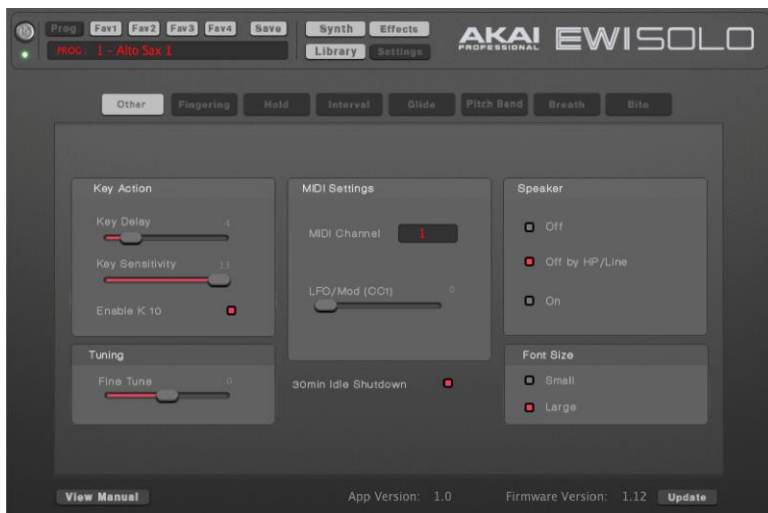
ページの左側には、EWI Soloに搭載されている200のシステムプログラムのリストが表示されます。ページの右側には、Favorites 1-4 Programのリストがあります。

システム・リストのプログラムをフェイバリット・リストに追加するには、そのプログラムをシステム・リストからフェイバリット・リストにドラッグするだけです。フェイバリット・リストのプログラム数が25に満たない場合は、表示される緑色の線に従ってプリセットの場所を選択できます。フェイバリット・リストが25プログラムでいっぱいの場合は、フェイバリット・リスト内の置き換えたいプログラムの上にドロップすると、赤でハイライト表示されます。

フェイバリット・リストからプログラムを削除するには、そのプログラムをクリックしてハイライト表示させ、**Remove**をクリックします。システム・リスト内のプログラムは削除できません。

フェイバリット・リスト内のプログラムを並べ替えるには、プログラムをクリックして反転表示させ、上下の矢印をクリックしてその方向に移動させます。また、プログラムをクリックしてドラッグすると、緑色の線が表示され、その線に従ってプログラムを並べ替えることができます。システム・リストのプログラムは並べ替えることができません。

セッティング・ページ



セッティング・ページでは、EWI Soloを自分好みに設定することができます。編集できる設定は、EWI SoloのGlobal Menu(Globalボタンを押すことでアクセス可能)と同じです。

以下のセクションでは、「セッティング・ページ」の各タブについて説明します。

Other

**Key Tracking:**

- **Key Delay:** EWI Soloの鍵盤をタッチしたときの反応性をスライダーで設定します(0-20)演奏スタイルによっては、高すぎたり低すぎたりすることで、予期せぬ音が出ることがあります。この値を調整することで、よりスムーズな演奏が可能になります。

低い値では、EWI Soloはより反応しやすくなり、複数の音を素早く連続して演奏することができます。より速いフレーズを演奏する場合は、低い値をお勧めします。

高い値を設定した場合は、EWI Soloは素早い指使いの演奏とノートの変化を無視します。初心者の方には、不要な音を出さないよう高めの値をお勧めします。

- **Key Sensitivity:** 鍵盤をタッチしたときの反応性をスライダーで設定します(1-15)値が高いほど、ノートのキーをトリガーするのに必要なタッチが軽くなります。
- **Enable K10:** K10キーを有効にする場合は、このチェックボックスをオンにします。無効の場合、キーはダイレクトモードなどの操作に使用できますが、ノートのトリガーには使用されません。

Fine Tune: このスライダーでEWIソロの微調整(-100 - 0 - +100セント)を行います。プログラムごとの粗いピッチ調整は、シンセ・ページのピッチ調整で行います。

MIDI Settings:

- **MIDI Channel:** このフィールドをクリックして、EWI Soloにメッセージを送信するMIDIチャンネルを選択します。(1-16)
- **LFO/Mod (CC1):** モジュレーション(CC#1)のかかり具合をスライダで調整します。(0-127)

30min Idle Shutdown: このチェックボックスを選択すると、自動シャットダウンの有効/無効を切り替えることができます。有効の場合、EWI Soloは30分間使用されないと、バッテリーを節約するために自動的に電源が切れます。

Speaker: チェックボックスをクリックして、内蔵スピーカーの動作を決定します。

- **Off:** 内蔵スピーカーは常にオフの状態です。
- **Off by HP/Line:** ヘッドホン端子またはラインアウト端子を使用しているときのみ、内蔵スピーカーはオフとなります。
- **On:** 内蔵スピーカーは常にオンの状態です。

Font Size: チェックボックスをクリックすると、プログラム表やお気に入りを表示するときのディスプレイの文字サイズ(小、大)を設定します。初期設定では、「Large/大」に設定されています。

Fingering

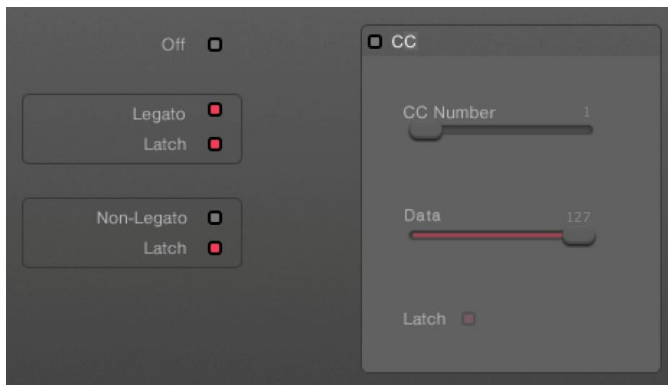


EWI Soloは、さまざまな演奏スタイルに対応するために、さまざまなフィンガリングモードを備えています。チェックボックスをクリックすると、希望のフィンガリングモードが選択できます。

- EWI** 従来の木管楽器の運指を参考にした、EWI Soloの標準的な運指です。
- Saxophone** 標準的なサクソと同じような運指です。このモードでは、最高音より2音下の指は無視されます。
- Flute** この指使いは標準的なCフルートと似ていますが、EWI Soloでの演奏を適切に行うには、いくつかの新しい指使いに慣れる必要があります。
- Oboe** この指使いは、標準的なオーボエと似ています。
- EVI** EVIとは、Electric Valve Instrumentの略です。金管楽器に近い指使いを希望する奏者には有効な指使いかもしれません。
- EVI Reversed** 実際のEVIの左手首の動きに最も近い運指です(主にEVI経験者にお勧めします)オクターブローラーが逆になっています。

[EWI Soloユーザーガイド](#)に全運指表が掲載されています。

Hold



EWI SoloのHoldボタンを押すと、ホールド・モードに入る、または終了します。このモードは音を弾いてキープし、そのキープした音の上に別の音またはメロディラインを演奏することができます。EWI Soloのホールド・モードがどのように機能するかは、Holdタブを使用して確認します。

Off: このチェックボックスを選択すると、ホールドボタンが無効になります。

Legato: ホールドボタンを押したときに、すぐホールド・モードを有効したい場合は、このチェックボックスを選択します。ホールドボタンを押した直後に弾いた音は、その後別の音を弾いてもホールドアウトされず、新しいフレーズを開始すると、新しい音がホールドされます。

ホールドボタンをトグル(押すたびにホールド・モードが作動または解除される)にしたい場合: Latchチェックボックスを選択し、モーメンタリ(押し続けるとホールド・モードが作動し、離すと解除される)にしたい場合は選択を解除してください。

Non-Legato: ホールドボタン長押しで、ホールド・モードを有効にしたい場合は、このチェックボックスをオンにします。ホールドボタンを押す前に弾いた最後の音は、その後別の音を弾いてもホールドされたままになります。ホールドボタンを離すと、ホールドされていたノートは解除されます。

ホールドボタンをトグル(押すたびにホールド・モードが作動または解除される)にしたい場合: Latchチェックボックスを選択し、モーメンタリ(押し続けるとホールド・モードが作動し、離すと解除される)にしたい場合は選択を解除してください。

CC (Continuous Controller): ホールドボタンがMIDIコンティニユアス・コントローラー(CC)データを送信するように設定するには、このチェックボックスをオンにします。

- **CC Number:** このスライダーでホールドボタンが送信するCC番号を設定します。
- **Data:** 再生中にホールドボタンを押したときに送信するCC値をスライダーで設定します。解除時は0が送信されます。ラッチモードの設定により、解除の方法を決定します。
- **Latch:** ホールドボタンをトグルボタンにしたい場合はラッチチェックボックスを選択し、モーメンタリ(押しっぱなしで有効、離すと無効)にしたい場合は選択を解除します。

Interval



EWI SoloのIntervalボタンを押すと、現在演奏している音から指定した間隔で2音目を演奏できるInterval Modeに入ります。(モードを出る時も同様にボタンを押します)EWI Soloのインターバル・モードがどのように機能するかは、Intervalタブを使用して決定します。

Off:このチェックボックスを選択するとIntervalボタンが無効になります。

Fixed:このチェックボックスを選択すると1つの固定インターバルが使用され、スライダーでインターバルを設定します。範囲は-12から+12セミトーンです。

Real Time:このチェックボックスを選択すると、Intervalボタンを押した後に2つの音/ノートを演奏して、その間隔を決定することができます。その2つのノートの間隔がインターバルになります。

CC (Continuous Controller): Interval ButtonがMIDIコンティニユアス・コントローラー (CC) データを送信するように設定するには、このチェックボックスをオンにします。

- **CC Number:** このスライダーで、押したときにインターバルボタンが送信するCC番号を設定します。
- **Press:** 演奏中にIntervalボタンを押したときに送信されるCC値を設定します。離すと0が送信されます。ラッチモードの設定により、解除の方法を決定します。
- **Latch:** ホールドボタンをトグルボタンにしたい場合はラッチチェックボックスを選択し、モーメンタリ(押しっぱなしで有効、離すと無効)にしたい場合は選択を解除します。

Glide



演奏しながらオクターブローラーの右側にあるグライドプレートに触れ、親指でローラーを転がさないように動かすと、「グライド」効果が得られます。これは、ポルタメントと呼ばれ、音程を滑らかに連続的に上下させることができます。グライド・プレートがどのように機能するかは、「グライド」タブでご確認ください。

Disable MIDI Glide Messages: このチェックボックスを選択すると、グライドプレートからのグライドメッセージの送信が無効になります。MIDIグライドメッセージを再び有効にするには、以下のオプションのいずれかをクリックして有効にします。

Legato Time: 外部シンセモジュールのレガートタイムをコントロールする場合に使用します(コントローラモードでEWI Soloを使用する場合など)

- **Release:**グライドプレートに触れていないときに送信されるCC値を設定します。
- **Press:**グライドプレートに触れたときに送信されるCC値を設定します。

Portamento (CC5): グライドプレートを設定し、ポルタメントで音間を移動することで、より表現力豊かな演奏が可能です。

- **Time Enable (CC5):** このチェックボックスをオンにすると、グライドプレートがCC#5を送信するように設定されます。(ポルタメントタイム)
- **Release:** グライドプレートに触れていないときに送信されるCC値を設定します。
- **Press:** グライドプレートに触れたときに送信されるCC値を設定します。
- **Pedal Switch (CC65):** このチェックボックスを選択すると、グライドプレートがCC #65 (Portamento On/Off)を送信するように設定されます。モジュールによってはポルタメントを有効または無効にするためにこのメッセージが必要な場合がありますが、EWI Soloやほとんどのモジュールでは必要ありません。

CC Send: グライドプレートに他のMIDIコンティニユアス・コントローラ(CC)データを送信するように設定することができます。

- **CC Number:** グライドプレートが送信するCC番号を設定するスライダーです。
- **Release:** グライドプレートに触れていないときに送信されるCC値を設定します。
- **Press:** グライドプレートに触れたときに送信されるCC値を設定します。

Pitch Bend



演奏中にピッチベンドプレートで親指で操作することで、音程が上下に移動します。EWI Soloのピッチベンドプレートがどのように機能するかは、Pitch Bendタブを使用して決定します。

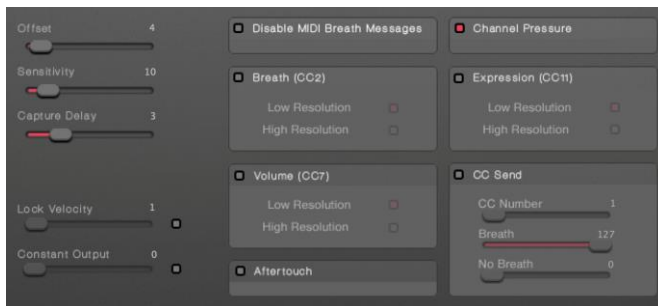
ピッチベンドメッセージを無効にする場合: このチェックボックスを選択すると、ピッチベンドプレートがピッチベンドメッセージを送信しないようになります。MIDIピッチベンドメッセージを再び有効にするには、以下のオプションのチェックボックスをクリックして有効にしてください。

Pitch Bend: このチェックボックスを選択すると、Pitch-Bend プレートはピッチベンドメッセージを送信するように設定されます。センシティビティー・スライダーを使用して、ピッチベンドプレートの感度を設定します (-63 - +63)

CC (Continuous Controller) Send: ピッチベンドプレートにMIDI CCメッセージを送信するように設定することができます。

- **CC Number:** このスライダーで、ピッチベンドプレートをタッチしたときに送信されるCCナンバーを設定します。
- **Release:** ピッチベンドプレートに触れていないときに送信されるCC値を設定します。
- **Press:** ピッチベンドプレートに触れたときに送信されるCC値を設定します。

Breath



Breathタブで、EWI Soloのプレス・センサーの動作を決定します。

重要：ここで設定したBreath、Volume、ExpressionのLow ResolutionとHigh Resolutionは、EWI SoloのMIDI出力 (USBポートとMIDI Out) だけに影響します。これらの設定は、EWI Soloがこれらのメッセージを内部シンセに送信する方法には影響しません。

Offset: このスライダーを使って、音を鳴らす前に必要な最小限の息の量を設定します。

Sensitivity: このスライダーを使って、息の量に対するプレス・センサーの反応度を設定します。

Capture Delay: 息を吹き込んだ瞬間からノートオンメッセージが送信されるまでのデレイ量を、このスライダーで設定します。

Lock Velocity: このチェックボックスを選択すると、プレス・センサーが固定された初期ベロシティ値で送信するよう設定されます。スライダーで値を設定します。(0 - 127)

Constant Output: このチェックボックスをオンにすると、ノートを保持している間は、息の力がどのように変化しても、ブレス・センサーが一定のベロシティ値を送信するように設定されます。スライダーで値を設定します。(0-127)

Disable MIDI Breath Messages: このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサーからのブレスメッセージは送信されません。MIDIブレスメッセージを再び有効にするには、以下のオプションのいずれかをクリックして有効にします。

Breath (CC2): このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサーのブレス・メッセージの送信を有効または無効にすることができます。有効の場合、以下のいずれかを選択します。:

- **Low Resolution:** ローレゾリューション(1CCメッセージ)でブレス・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。
- **High Resolution:** ハイレゾリューション(2CCメッセージ)でブレス・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。

Volume (CC7): ブレス・センサーによる音量メッセージの送信を有効または無効にする場合は、このチェックボックスを選択します。有効の場合、以下のいずれかを選択します。

- **Low Resolution:** ローレゾリューション(1CCメッセージ)でボリューム・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。
- **High Resolution:** ハイレゾリューション(2CCメッセージ)でボリューム・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。

Aftertouch: ブレス・センサーからアフタータッチ・メッセージを送信させる場合は、このチェックボックスをオンにします。

Channel Pressure: ブレス・センサーでチャンネルプレッシャー・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。

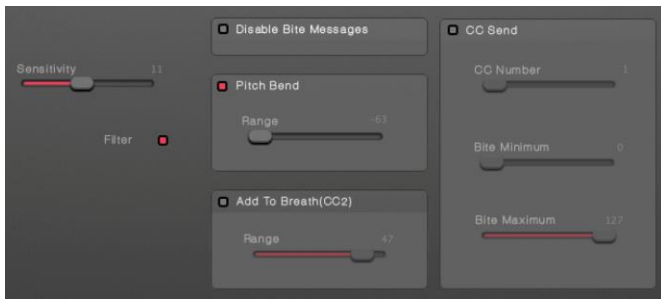
Expression (CC11): プレス・センサーのエクスペッション・メッセージの送信を有効または無効にする場合は、このチェックボックスを選択します。有効の場合、以下のいずれかを選択します。

- **Low Resolution:** ハイレゾリユーション(1CCメッセージ)でエクスペッション・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。
- **High Resolution:** ハイレゾリユーション(2CCメッセージ)でエクスペッション・メッセージを送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。

CC Send: このチェックボックスをオンにすると、プレス・センサーがMIDI CCメッセージを送信するのを有効または無効にすることができます。有効にすると、以下の編集が可能になります。

- **CC Number:** プレス・センサーが送信するCC番号をスライダーで設定します。
- **Breath:** 息を吹き込んだときに送信されるCC値の最大値を設定します。
- **No Breath:** 息を入れないとき、何していないときに、プレス・センサーが送信するCC値を設定するスライダーです。

Bite



Biteタブで、EWI Soloのバイト・センサーがどのように機能するかを確認します。

Sensitivity: このスライダーを使用して、プレッシャー量に対するバイト・センサーの反応度を設定します。値が高いほど、マウスピースを噛むときに必要な圧力が小さくなります。

Filter: バイト・センサーをAkai Professional EWI4000のように機能させたい場合は、このチェックボックスをオンにします。チェックボックスをオフにするとバイト・センサーは噛む力に比例して音程をリニアにベンドします。

Disable MIDI Bite Messages: このチェックボックスを選択するとバイト・センサーがバイト・メッセージを送信しないようになります。MIDIバイト・メッセージを再び有効にするには、以下のオプションのチェックボックスをクリックして有効にします。

Pitch Bend: このチェックボックスを選択するとバイト・センサーで演奏中にピッチベンドすることができます(リード楽器の演奏中にリードを噛むとピッチに影響があるのと同様です)スライダーで値を設定します(-63から+63セントーン)

Add to Breath (CC2): プレス情報に影響を与えるセンサーの設定をする場合は、このチェックボックスを選択し、スライダーで値を設定します (-99から+99セミトーン)

CC Send: バイトセンサーがMIDI CCメッセージを送信するように設定することができます。

- **CC Number:** バイト・センサーが送信するCCナンバーを設定します。
- **Bite Minimum:** バイト・センサーが送信するCC値の最小値を設定します。
- **Bite Maximum:** バイト・センサーが送信する最高値のCC値を設定します。

下パネルツールバー



すべてのタブで、以下のオプションと情報が、常時コンピューティング・ページの下部に表示されま
す。:

- **View Manual:** このボタンをクリックすると、EWI Solo Editorアプリケーションのユーザーガイドが表示されます。
- **App Version:** EWI Solo Editorアプリケーションの現在のソフトウェアバージョンです。
- **Firmware Version:** EWI Soloの現在のファームウェアのバージョンです。
- **Update:** クリックすると、ファームウェアのアップデートファイル(ダウンロードした場合)をEWI Soloに送信できます。 akaipro.com/EWISolo で、利用可能な EWI Solo のファームウェア・アップデートを確認することもできます。

商標およびライセンス

Akai Professionalは、米国および他の国々で登録されたinMusic Brands, Inc.の商標です。
MacおよびmacOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

AKAI[®]
PROFESSIONAL

akaipro.com